



みゆきレター



学長挨拶

福山平成大学 学長 富士 彰夫

皆さん今日は。4月から学長に就任した富士です。この欄を借りて自己紹介します。

出身は東京の浅草、実家は仲見世で100年以上続く煎餅屋です。富士という名前は珍しいですが、我が家の伝承では、先祖は武田信玄に滅ぼされた豪族で富士浅間神社の宮司を務めたそうで、やはり富士山と関係はあるようです。幼いころの浅草はまさにアミューズメント・パークで、六区には多くの映画館、大衆演劇場、寄席が立ち並び、観音様の境内では大道芸を競い合い、夜になると観音裏の花柳界から粋な三味線の音が流れていました。初詣、花火大会、ほおずき市、羽子板市、除夜の鐘等行事が絶えることはなく、店の関係で幼いころから相撲部屋、歌舞伎楽屋、料亭に出入りする等珍しい経験をしていました。私は長男なので、本来なら店を継いで今頃は仲見世老舗の旦那になっているはずでしたが、運命は分からないものです。

東京大学経済学部を卒業後、海外勤務にあこがれて東京銀行(現在の三菱UFJ銀行)に就職しました。銀行では支店勤務や大蔵省(現財務省)出向の後に調査部に配属され、世界経済分析や金融制度調査を担当し、多くの研究論文発表や講演会・学会・大学での講師を務めました。実のところ、「研究所に就職したつもりは無い」と言って異動希望を出し続けたのですが結局想定外の長期調査部勤務となりました。この経験が後に大学教員になる際の貴重な財産になるとは当時は想像すらしていませんでした。その後、ニューヨーク支店、為替資金部、資本市場部、合併後に再度調査部、アトランタ支店長、海外投融資財団役員などを務めて定年を迎えた時、自分の第2の人生はそれまでの経験を生かして大学で研究と学生教育に費やしたいと思うようになり、福山大学からお誘いを受けた時はこれこそ天の配剤だと思いました。福山大学では経済学部で教える一方で国際交流を担当し、多くの元気溢れる学生達と接し、若者が成長する姿を目の当たりにすることが出来たのは幸せでした。こうした経験から「人生は何が起こるか分からないから面白い(人間万事塞翁が馬)、全ての出会いは貴重な経験となる。瞬間を大事にしよう(一期一会)、学生は無限の成長の可能性を持っている」を実感しています。福山平成大学の学長として、皆さんが後年に振り返った時「福山平成大学との出会いが自分の原点だった」と思えるような大学に行きたいと思っているのでよろしくお願いいたします。

健康スポーツ科学科

健スポ初年次教育『基礎演習』

健康スポーツ科学科の初年次教育として、「基礎演習」という授業があります。授業では、大学生として必要な基礎力を身に付けるとともに、協調性やコミュニケーション能力を磨き、目標達成に向けた課題発見力を高める一貫として、レポート作成やプレゼンテーション指導、スポーツテスト、自然体験活動などを行っています。

そのなかでも特に健スポでは、野外活動や学科運動会、実技授業など、集団での規律ある行動が求められる場面が多くあります。そのため今年度は、数週間にわたり学生リーダーの指導のもと、方向転換・集合・列の増減・行進など『集団行動』の練習を行い、5月21日(土)にみんなの前で発表しました。どのグループもよく動きがそろってお

助教 石井 智紋



Let's enjoy
the summer
to the fullest

経営学科

最先端技術を使った未来の福山を提案



が事前調査してきた情報を共有する事から始まりました。外出時の移動、他者との交流の問題など、様々な観点から高齢者を取り巻く課題が提起されました。また、ディスカッションの方法、プレゼンのやり方など、ソフトバンク流の仕事の進め方についても学びました。

最後のプレゼン大会では、買い物等での移動や支払いの手段など、現在の高齢者が抱える課題を指摘しました。その上で、10年後の福山市が目指すべき未来像として、「持ち物ゼロで何でもできる(高齢者にやさしい)福山市」を提案しました。

経営学科では、授業で学んだことを社会で活用する方法について、今回のような実践的な教育を推進しています。今回参加した学生の皆さんも、大学の授業とは違う、新しい学びが得られた体験だったと思います。ここで学んだことを残りの学生生活、そして社会人生活で活かしてくれることを期待しています。

教授 江口 圭一

経営学科の学生3名(4年・近藤 裕介さん、池田 朱季さん、八杉 樹さん)が、福山市とソフトバンク株式会社による特別講座に参加しました。この講座は、学生自ら主体的に地域が抱える課題の解決策を考えるとともに、社会人の方と一緒に働く体験をすることを目的としたものです。

ソフトバンク社員の方にはサポート役としてチームに加わっていただき、「高齢者の問題」をテーマに議論を進めました。グループワークでは、高齢者が抱える課題や現状について、各自



学科トピックス

福祉学科

一人暮らし学生交流会の結成



主に一人暮らしをしている在学生同士の交流を図り、孤立を防ぎ、先輩後輩同士の縦横のつながりを創出していくための試みです。全学年を含む5・6年の小グループをつくり、学習・生活面での困りごとなどを相談しやすいような関係性の構築を図ります。

5月には、第一回目の交流会を開きました。学生18人、教員5人が参加してくれました。一人暮らし学生の出身地は、広島(広島市・三原市・島根、山口、兵庫、愛媛、高知など)でした。これからの交流会では、それぞれの地域の魅力や特産物などをお互いに紹介しながら、楽しい学校生活を送れるよう学科全体でサポートします。

次回は、3・4年生の先輩が中心となってレクリエーションを行う予定です。私たち教員も楽しみにしています。

教授 中嶋 裕子

福祉学科には、広島県外や福山市外から入学してきた学生が多くいます。そんな学生たちは、慣れない一人暮らしをしながら授業を受けています。

今年度は対面授業を実施できていますが、一昨年度よりコロナ禍において多くの授業がオンライン授業に替わりました。友だち同士や教員と顔を合わせる機会が激減してしまい、寂しさを感じた学生たちは少なからずいたように思います。

そんな学生の大学生活を充実させたいと考え、今年度より「一人暮らし学生交流会」を開催することにしました。

こども学科

実習に向けた対面授業



役になった学生たちの前で順番に試していきます。入念に準備し、子ども役の学生を絵本の世界に引き入れている学生もいれば「手遊び」を他の学生に教え、10分後にはグループ全員での「手遊び」ができるように教えていた学生もいました。

この授業で改めて気づいたことは、誰かが何かに聞き入っている様子や何かに集中して取り組んでいる姿など、その場の空気を教員も学生も、直接感じられることです。新型コロナウイルス感染症の拡大以前は当然のように授業の中で感じていたことが、今ではとても貴重な瞬間だったと改めて気づきました。

対面授業が続くという忘れてしまいがちになりますが、誰かと直接関わることができ、瞬間を学生とともに大切に共有していきたいと考えています。

講師 佐伯 岳春

看護学科

在宅看護学領域について

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行と共存への日々も3年目を迎え、あらゆる領域で看護の重要性と価値が明らかになりました。

教育現場は、感染症対策を強化しながら「新型コロナウイルス感染症防止のための授業ガイドライン」の学内ステージに沿った授業形態(対面・遠隔授業)を実施しています。

看護基礎教育では、今年度(2022年)から「改正カリキュラム」が適用されることとなりました。その背景は、人口及び疾病構造の変化や療養の場の多様化等を踏まえ、地域医療構想の実現や地域包括ケアシステムの推進に向け、多職種が連携して適切な保健・医療・福祉を提供することが期待されており、看護職員には対象の多様性・複雑性に対応した看護を創造する能力が求められています。

そのような中、在宅看護学領域では、対象や療養の場の多様化に対応できるよう「在宅看護論を「地域・在宅看護論」に講義名を変更し、内容を充実させています。授業では「人々が暮らす地域」という環境において、対象者の「生きること」を支える」という看護の基本を大切にしています。また外部講師による実践的な講義や趣向を凝らした演習、グループワークを行っています。

これから各学年それぞれの実習が始まっていきます。感染症対策に留意して、貴重な実習が実りあるものになることを願っています。



教授 平井 三重子

11年連続99%以上、
加えて、昨年度内定率100%の
確かな就職実績を達成！

就 職
内 定 率

100%



1 昨年度の就職状況について

まず、昨年度、内定率100%を達成できたことは特筆すべきこととして挙げられます。この成果の要因も、地元の備後地域等の多くの事業所から求人をお願いしたことや、本学の学生が、卒業生を含めて各企業等から高い評価を得ていることにもあると受け止めています。また、学生の就職活動の立ち上がりの良さに呼応して、本学の教職員も一丸となって、きめ細かい就職支援を実施し続けていることも、このような好結果につながったと思います。

さて、就職状況については、地域別では地元の広島県への就職が約64%、広島県を除く中国地方が約13%等です。業種別では医療・福祉業が約43%、教育は約18%、卸売・小売業は約13%、建設業(事務職、営業職を含む)が約6%等、多様な就職実績を得ています。



2 4年生の就職活動の状況及び本学の取り組みについて

今春から本格化した4年生の就職活動も、はや4ヶ月目に入り、withコロナの状況下で学生の動きも活発になってきており、各学生は多様なニーズを持って就職課を積極的に訪ねて来ます。それに応えるように、キャリアカウンセラーやハローワークから定期的に派遣されているジョブサポーターが、学生への相談対応に精力的に当たっています。現在、キャリアカウンセラー並びにジョブサポーターとの相談予約枠が毎回一杯の状態ですが、就職課の職員も履歴書添削や面接指導等の相談に応じています。

このように、本学では各学科の就職委員を含めて、教員とも密な連携を図るなど、しっかりとしたサポート体制を組んで指導体制の充実を図っています。本年度も大学が一丸となって、引き続き就職内定率100%の達成をめざして取り組みます。



3 就職活動を取り巻く状況の変化

現在、政府が主導する大卒採用の指針(いわゆる、「就活ルール」)は、就活中の現4年生、また、3年生に関しては現行ルールどおりです。つまり、説明会開始が3年生の3月1日、採用選考が4年生の6月1日の解禁で、正式な内定日は10月1日以降(9月30日以前の内々定は、学生を拘束しないことになっています)です。本年度の企業の採用活動の特徴は、「早期化」の加速です。これは、コロナ禍から経済活動を再生しようとする企業の人材確保の動きが活発となっていることから来る、売り手市場での採用難のためです。企業はインターンシップ経由での採用も柱の一つと捉えており、4月の「インターンシップ生の情報の採用への活用合意」のニュースは、この実態を追認したものです。このため、今後も「早期化」に一層拍車がかかる様相です。



4 状況の変化を踏まえた学生の心構えについて

上述のように、就職活動を取り巻く状況は益々変化しており、目まぐるしい状況です。

そこで、2年生以下の学生に向けては限られた時間の中で、しかも、コロナ禍や就活の「早期化」という大きな制約下で大学生活を送るわけですから、実体験を適切な工夫のもとに積み重ねながら、自らの人生や仕事に対する考えを確実に熟成させ、その後の学業や、さらに4年生になったときの就職活動への強い動機付けにして欲しいものです。

保証人の皆さまにも、本学の取り組みにご理解とご協力をよろしくお願いします。

■ テーマ

「ポストコロナ時代をデザインする」

コロナ禍となり3年目を迎えています。不確実な現代社会にあっても、将来を見据え取り組む福山平成大学の研究・教育の最前線をお伝えします。

■ 日時 全5回(9月8日、15日、22日、29日、10月6日)

18:30 ~ 20:00

■ 会場 福山平成大学 7号館大講義室

■ 受講対象者及び定員 一般市民 250名

■ 受講料 無料

※なお、新型コロナウイルス感染症拡大によっては実施方法が変更になる場合があります。

第1回 9月8日 「日本と韓国における社会経済的格差と福祉」

福祉学科 崔 銀珠 准教授

第2回 9月15日 「あなたは、何のために学ぶのか？ ～予測困難な時代に突入する社会と教育～」

こども学科 足立 登志也 准教授

第3回 9月22日 「事業継承の2025年問題を考える」

経営学科 堀越 昌和 教授

第4回 9月29日 「心と身体を元気にする身だしなみ・化粧 ～今日からできる簡単なコツ～」

看護学科 大元 雅代 講師

第5回 10月6日 「身体知を考える」

健康スポーツ科学科 森澤 桂 教授

News! 令和4年度 入学式

本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の防止措置の観点から式当日は、新入生のみで開催しました。学部・大学院・専攻科あわせて291名の新入生が入学しました。



News! 「酸素ルーム」の設置

令和4年6月17日(金)、4号館1階4101教室に学校法人福山大学と共に福山平成大学後援会よりご援助していただいた酸素ルーム設置のオープニングセレモニーが執り行われました。酸素ルームを使用して期待できる効果としては肉体疲労の回復、自律神経の安定によるストレス軽減や睡眠の質の向上につながります。

多くの学生等に利用してくれることを期待しています。



令和4年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金、科学研究費補助金)採択一覧

所 属	職 名	氏 名	研 究 種 目	研 究 課 題 名	研 究 期 間	交 付 金 額
経 営 学 部	教授	市瀬 信子	基盤研究(C)	清朝康乾年間における、地方文献編纂と詩会活動を背景とした杭州詩人達の葛藤と文学	令和3年度～令和5年度	4,030,000円
福祉健康学部	教授	岡部 真智子	基盤研究(C)	地域で連携して取り組む居住支援プログラムの実践的開発と検証	令和2年度～令和6年度	4,420,000円
福祉健康学部	教授	古賀 一博	基盤研究(C)	教員人事評価制度改善のための東アジア国際比較共同開発研究	令和3年度～令和6年度	4,030,000円
福祉健康学部	教授	上 村 崇	基盤研究(C)	道徳教育における哲学対話を援用したいじめ現象抑止プログラムの開発	令和3年度～令和5年度	2,340,000円
福祉健康学部	講師	峯田 晋史郎	若 手 研 究	身体接触及び認知負荷を伴う動作中の内がえし捻挫受傷予防トレーニングの開発	令和3年度～令和7年度	4,680,000円
看 護 学 部	教授	内田 史江	基盤研究(C)	在宅がん患者の看取りを支える「家族コミットメント」アセスメントツールの開発	令和4年度～令和7年度	1,040,000円
看 護 学 部	講師	松本 陽子	若 手 研 究	精神科看護師が抱く陰性感情と視点取得的関わりモデルの構築	令和4年度～令和7年度	2,080,000円
看 護 学 部	講師	中川 名帆子	基盤研究(C)	オンラインシステムを活用した臨地実習における教育実践能力育成プログラム開発	令和2年度～令和5年度	4,290,000円

貸借対照表 (令和4年3月31日) (単位：円)			
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	58,017,187,594	固定負債	2,006,897,958
有形固定資産	31,451,275,522	長期借入金	216,030,000
土地	6,890,160,619	退職給与引当金	1,682,392,398
建物	16,220,491,722	長期未払金	108,475,560
構築物	837,546,642	流動負債	2,538,928,672
教育研究用機器備品	2,557,683,920	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	35,779,751	未払金	75,430,927
図書	4,877,239,945	前受金	2,268,476,727
車両	31,607,952	預り金	147,261,018
船舶	762,971	負債の部合計	4,545,826,630
建設仮勘定	2,000		
特定資産	26,529,386,376	純資産の部	
第2号基本金引当特定資産	2,150,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,682,392,398	基本金	55,354,234,929
減価償却引当特定資産	15,166,279,037	第1号基本金	52,716,234,929
校舎建設等引当特定資産	3,425,757,976	第2号基本金	2,150,000,000
創設準備引当特定資産	4,104,956,965	第4号基本金	488,000,000
その他の固定資産	36,525,696	繰越収支差額	3,383,205,435
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	3,383,205,435
施設利用権	600	純資産の部合計	58,737,440,364
保証金	33,316,670		
敷金	160,000	負債及び純資産の部合計	63,283,266,994
流動資産	5,266,079,400		
現金預金	4,905,904,164		
未収入金	234,321,077		
有価証券	81,363,520		
前払金	44,092,728		
仮払金	397,911		
資産の部合計	63,283,266,994		

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が半年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

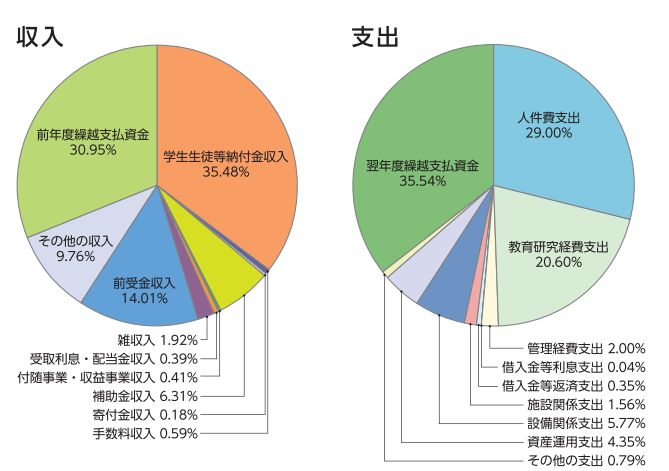
資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輦等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

財産目録 (令和4年3月31日) (単位：円)			
一 資産 額			
1. 基本財産			31,451,275,522
土地	338,143 m		6,890,160,619
建物	152,590 m		16,220,491,722
構築物			837,546,642
教育研究用機器備品	4,882 点		2,557,683,920
管理用機器備品	204 点		35,779,751
図書	451,845 冊		4,877,239,945
車両	33 台		31,607,952
船舶	2 艇		762,971
建設仮勘定			2,000
2. 運用財産			31,831,991,472
現金預金			4,905,904,164
第2号基本金引当特定資産			2,150,000,000
退職給与引当特定資産			1,682,392,398
減価償却引当特定資産			15,166,279,037
校舎建設等引当特定資産			3,425,757,976
創設準備引当特定資産			4,104,956,965
電話加入権			3,048,426
施設利用権			600
保証金			33,316,670
敷金			160,000
未収入金			234,321,077
有価証券			81,363,520
前払金			44,092,728
仮払金			397,911
資産総額			63,283,266,994
二 負債 額			
1. 固定負債			2,006,897,958
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		216,030,000
退職給与引当金			1,682,392,398
長期未払金			108,475,560
2. 流動負債			2,538,928,672
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		47,760,000
未払金			75,430,927
前受金			2,268,476,727
預り金			147,261,018
負債総額			4,545,826,630
正味財産(資産総額－負債総額)			58,737,440,364

監査報告書			
学校法人 福山大学	理事長 御中	監事 御中	
学校法人 福山大学	監事 安保 邦	監事 光波 祥二郎	
私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人福山大学附行法第7条の規定に基づき、学校法人福山大学の令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査した。 私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出頭し、理事等から業務の報告を聴取し、重要な決議書類等を閲覧するとともに、会計監事人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手帳を実施した。 監査の結果、学校法人福山大学の業務に関する決定及び執行並びに理事の業務執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産又は理事の業務執行に関する不正の行為、または、法令若しくは寄附行為に違反する重大な事象はないものと認める。			
以上			

令和3年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日) (単位：円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,743,599,340	人件費支出	4,002,767,667
手数料収入	96,021,304	教育研究経費支出	2,843,934,230
寄付金収入	29,444,867	管理経費支出	276,422,315
補助金収入	1,021,742,687	借入金等利息支出	5,658,905
資産売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	65,803,446	施設関係支出	215,955,632
受取利息・配当金収入	63,114,928	設備関係支出	796,970,892
雑収入	310,820,859	資産運用支出	12,300,000,000
借入金等収入	0	その他の支出	2,463,472,395
前受金収入	2,268,476,727	資金支出調整勘定	△ 120,671,419
その他の収入	15,742,004,274		
資金収入調整勘定	△ 2,614,054,652		
前年度繰越支払資金	5,011,201,001	翌年度繰越支払資金	4,905,904,164
収入の部合計	27,738,174,781	支出の部合計	27,738,174,781



上記のグラフは次のとおり調整しています。

- 資金収入・資金支出調整勘定を除外
- その他の収入・資産運用支出・その他の支出のうち、資産運用・預り金・仮払金に係るものは収入と支出を相殺

資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていないませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料。休学者在籍料、各種証明書発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したもの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目

支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
施設関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
設備関係支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
資産運用支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
その他の支出	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの
資金支出調整勘定	

事業活動収支計算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日) (単位：円)	
科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,743,599,340
手数料	96,021,304
寄付金	13,155,647
経常費等補助金	986,208,687
付随事業収入	65,803,446
雑収入	310,905,088
教育活動収入計	7,215,693,512
事業活動支出の部	
人件費	3,909,160,865
教育研究経費	3,780,044,539
管理経費	339,877,454
徴収不能額等	0
教育活動支出計	8,029,082,858
教育活動収支差額	△ 813,389,346
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	63,139,014
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	63,139,014
事業活動支出の部	
借入金等利息	5,658,905
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	5,658,905
教育活動外収支差額	57,480,109
経常収支差額	△ 755,909,237
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	54,154,901
特別収入計	54,154,901
事業活動支出の部	
資産処分差額	365,965,236
その他の特別支出	0
特別支出計	365,965,236
特別収支差額	△ 311,810,335
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,067,719,572
基本金組入額合計	△ 150,000,000
当年度収支差額	△ 1,217,719,572
前年度繰越収支差額	3,541,187,045
基本金取崩額	1,059,737,962
翌年度繰越収支差額	3,383,205,435
(参考)	
事業活動収入計	7,332,987,427
事業活動支出計	8,400,706,999

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額（施設設備に係る寄付は除く）
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入（施設設備に係る補助金は除く）
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入

事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給与引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を売却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出

その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

令和4年度 サークル活動記録

軟式野球部

第27回中国地区大学軟式野球連盟春季大会
5/14～21 井原運動公園野球場 他

優勝 全日本大学軟式野球選手権大会出場8/21～

男子バレーボール部

第66回中国四国学生バレーボール選手権大会
5/27～30 安佐北区スポーツセンター 他

優勝

ソフトテニス部

第44回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会
第66回中国学生ソフトテニス優勝大会
第24回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会
5/3～7 浜山公園テニスコート

男子団体 **優 勝**

女子団体 **優 勝**

女子ダブルス **優 勝** 岡崎 あゆみ (健スポ 2)・小川 悠希 (健スポ 1) ペア

女子シングルス **優 勝** 岡崎 あゆみ (健スポ 2)

陸上競技部

第76回中国四国学生対校選手権大会
6/3～5 浜山公園陸上競技場

男子 走高跳 1位 小林 祐大 (健スポ 2)
400m 3位 増垣 正昭 (健スポ M1)
10000m競歩 2位 村上 巧弥 (健スポ 3)

3位 池田 健人 (健スポ 2)
女子 10000m競歩 1位 三好 彩奈 (健スポ 2)

上位入賞者は天皇賜杯第91回日本学生陸上競技対校選手権大会に出場予定 9/9～

紅白餅の配布について

5月13日の金曜日の昼休みに、5月15日の開学記念日のお祝いとして学友会主催で紅白餅の配布を行いました。当日は、紅白餅の配布の他7号館入口に「開学記念行事の写真展示」を行いました。小雨模様の天候にもかかわらず多くの学生が集まり、学友会長他学友会スタッフと学生委員長、学生課により紅白餅1,246セット配付し、盛況のうちに終了しました。



一、真理を求め、道理の実践を志向する。
二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

御幸五訓

Open Campus

オープンキャンパス

本学では、高校生・保護者を対象に、福山平成大学の学びや魅力を体験できるオープンキャンパスを開催しています。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を徹底して実施し、参加者は高校生に対し保護者1名までとし事前申込制で対応しております。学科に分かれて実施しており、各学科での学びの紹介・説明、入学者選抜制度説明を行います。また、本学学生も参加し、高校生にも分かり易い内容での模擬講義・実習体験、施設・設備の見学、キャンパスライフの紹介など、本学のことを知ってもらえるプログラムを企画しております。2022年度は第1回をすでに6/18に実施しましたが、7月以降は下記の日程で実施いたします。

体験入学会

7月24日(日)・8月20日(土)

見学会

9月10日(土)・3月18日(土)



編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学

発行日 2022年7月20日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>